

平成23年度 個別施策管理シート

政策	3 夢のふくらむ港	施策推進 責任者	総合開発担当部長 企画調整室長 関連事業担当部長
基本施策	04 うるおいと魅力のある港湾空間の形成		
個別施策	13 人々の交流の場を充実する		

1. PLAN(目的・内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	来港者					
	サービスの対象物(何を)	ガーデンふ頭及び金城ふ頭					
	意図(どういう状態にしたいのか)	人々が交流し、賑わいのある場となる					
内容	ガーデンふ頭では、名古屋港水族館など人々が賑わい親まれる港づくりを進めているとともに、金城ふ頭では駅周辺において、商業・娯楽施設を誘致し交流拠点の形成を進めています。今後も再開発を進め、人々が交流し、賑わいのある場となるようにしていきます。						
目標	ガーデンふ頭地区及び金城ふ頭地区の施設がより多くの人々に利用されるようにします。	目標達成に影響する外的要因等 景気変動による来港者数減					
成果指標	年度実績等	H19	H20	H21	H22	目標H24	指標の説明(式)
	実績	万人	275	249	225	223	
ガーデンふ頭施設利用者数	達成率	%	105.8	95.8	86.5	85.8	水族館、ポートビル(展望室・博物館)、ふじ。(イタリヤ村を含まず) ※19年度は開港100周年
	実績	万人	53	64	65	71	
金城ふ頭施設利用者数	達成率	%	60.2	72.7	73.9	80.7	本組合貸付地施設のみ
	実績	万人	53	64	65	71	

2. Do(個別施策を構成する各事務事業の取組内容と今後の方向性)

重点化	担当課	事務事業名(コード)	事務事業の概要	主な成果指標又は活動指標(単位)	成果・事業費(千円・人件費込)			目標値(年度)	H22年度事業に基づく評価結果(及びH23年度評価時点までの状況変化も反映)				
					H21	H22	H23		H22年度未までの状況※1	H23年度以降の取組の方向性	備考(判断の理由・目標年次の変更等)		
					実績		目標					事務事業※2	成果※3
				決算額		決算見込額		予算額					
○	(企画調整室)計画担当	交流機能の施設配置計画の策定(港湾計画の策定)(3041301)	名古屋港における交流施設の現状分析を行い、他の施設計画との整合と取りながら、交流空間の更なる拡充に向けた施設配置の検討を行います。	策定進捗率(累計)(%)	30	34	54	100(H25)	遅れ	継続	↗	➡	・物流の環境変化に対応した港湾のマスタープランである港湾計画の改訂に向けて着実に準備する必要があるため。 ・目標年度を23年度から25年度に変更しました。
					1,201	1,781	3,068						
	(建設部)金城・南5区開発担当	モノづくり文化交流拠点形成の支援(3041302)	名古屋市が金城ふ頭にて推進しているモノづくり文化交流拠点形成の推進を支援し、関係機関と調整を行います。	モノづくり文化交流拠点の整備面積(累計)(ha)	0.0	5.1	8.3	8.3(-)	順調	継続	➡	➡	リニア・鉄道館の開業により、一定の成果があがり、引き続きモノづくり交流拠点整備の推進を支援、調整を行うため。
					772	3,223	3,331						
	(港営部)関連事業担当	名古屋港水族館の管理運営(3041303)	定例的な連絡調整会議やモニタリングにより、指定管理者への指導・助言を行い、施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供します。	入館者数(万人)	172	176	200	200	順調	継続	↗	➡	コストを維持しつつ(指定管理業務)、目標の入館者数を実現するため。
					10,298	10,177	10,520	継続事業					
	(港営部)関連事業担当	名古屋港ポートビルの管理運営(3041304)	定例的な連絡調整会議やモニタリングにより、指定管理者への指導・助言を行い、施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供します。	入場者数(展望室、海洋博物館及び南極観測船ふじ)(万人)	52	46	60	60	やや遅れ	継続	↗	➡	コストを維持しつつ(指定管理業務)、目標の入場者数を実現するため。
					121,365	4,071	4,208	継続事業					
	(港営部)関連事業担当	名古屋港湾会館の管理運営(3041305)	定例的な連絡調整会議やモニタリングにより、指定管理者への指導・助言を行い、施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供します。	会議室の利用率(%)	54	48	43	43	順調	継続	➡	➡	・平成22年9月より新しくPFI事業による供用を開始 ・目標とする利用率は達成されており、コストは維持する(指定管理業務) ・目標年度を22年度から継続に変更しました。
					76,666	51,133	35,753	継続事業					
◎	(建設部)再開発担当	ガーデンふ頭再開発(東地区)事業の推進(3041306)	ガーデンふ頭全体における必要な機能、施設等の整理を行い、ガーデンふ頭再開発計画を作成します。また、ガーデンふ頭東地区において、民間事業者の進出を前提とした事業化方を検討します。	東地区の事業化手続進捗率(累計)(%)	-	10	100	100(H23)	やや遅れ	延伸	↗	➡	東地区の事業化に向けた取り組みを更に重点的に進めていくため。
					19,910	27,173	26,328						
	(建設部)再開発担当	本庁舎等整備事業【再掲】(3041307)	地震・津波などの緊急時において防災・危機管理の拠点となるべき本組合本庁舎の耐震性能を向上させるとともに、港湾会館を合築することについてPFIの事業手法を用いて、港まちづくりを推進していくものです。	事業進捗率(累計)(%)	72	100		100(H22)	完了				【本掲】「21防災対策を強化する」(コード5072108)にて評価
					55,881	3,199,769							
○	(建設部)金城・南5区開発担当	金城ふ頭駅前開発事業の推進(3041308)	金城ふ頭開発事業の残る駅前開発用地において民間施設の誘致を行います。(平成22年度に事務事業名をこれまでの「金城ふ頭第1期開発事業の推進」から変更しました。これは対象エリアを「第1期」用地(3.4ha)に限っていたものを「駅前」周辺に拡大(駅舎下等)したことに伴うものです。)	駅前開発用地の誘致件数(累計)(件)	0	1	2	2(H23)	遅れ	延伸	↗	➡	駅前の商業施設がオープンしたが、さらに開発を進める必要があるため。
					7,895	12,923	10,257						
	(建設部)金城・南5区開発担当	金城ふ頭既存立地施設の利用支援(3041309)	立地施設の事業者の要望等を聞いて調整を行います。(平成22年度に事務事業名を金城ふ頭開発施設の利用促進から変更しました。これは、駅前開発事業やモノづくり文化交流拠点形成支援などと差別化を図るためです。)	誘致施設の利用者数(万人)	65	71	88	88	順調	継続	➡	➡	今後も立地企業者との連絡会議等により、相互の連携を図っていく必要があるため。
					4,978	6,361	6,575	継続事業					
施策コスト(事業費合計)					298,966	3,316,611	100,040						

注)事業費は総事業費から本組合負担分を抽出して計上しています。

注)目標値欄の「継続事業」は完了年度を定めず行う事業です。この場合の目標値及び目標年度は、原則としてH24年度の中間目標として設定しています。

4. ACTION(個別施策全体の今後の取組の方向性)

H23年度以降の取組の方向性	平成23年度取組の方向性の判断の理由(本組合財政収支への影響の考察を含む※5)			
取組の方向性	成果※3	コスト※4		
	↗	➡		
<ul style="list-style-type: none"> <li>親しまれる港づくりを進めるには、交流の場の充実は重要であり、今後もより多くの人々が、来港し、楽しめるような施策や事業展開を図るため、成果を拡大としますが、コストは厳しい財政状況を踏まえ、維持とします。</li> </ul>				
今後の展開方向(新規事業の創出、事務事業の見直し等)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>ガーデンふ頭については、民間事業者による東地区の再開発事業を進めるとともに、ふ頭の他の施設や背後との連携施策及びふ頭内の動線の検討など、築地ポートタウン計画に基づき、現在の取組を強化していきます。</li> <li>ガーデンふ頭の親しまれる諸施設は、長引く不況の影響等で来場者は減少していますが、利用収入の中で、現有施設・人材等を有効的に利用するとともに、近隣施設と連携する中で集客増を目指します。</li> <li>金城ふ頭においては、名古屋市のモノづくり文化交流拠点構想と連携して、商業・娯楽施設拠点の形成を進めます。</li> <li>ガーデンふ頭と金城ふ頭を結ぶふ頭間アクセス等の形成により、より一層の交流が進むよう連携強化を図ります。</li> <li>交流機能の施設配置の港湾計画の策定に関しては、目標年次を新たに25年度に設定し、準備を進めていきます。</li> </ul>				

3. CHECK(個別施策全体における取組状況と課題)

平成22年度行政評価のACTION(取組の方向性)を踏まえて取り組んだ内容と現状における課題認識	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ガーデンふ頭の東地区の再開発については、進出の可能性の意向調査を行うとともに、既存施設の撤去等の進出しやすい条件の整理を行い、事業化へ向けた環境を整えています。景気の低迷や大規模震災の影響もあるため、再開発の実現性を高める更なる条件、施策の検討を進める必要があります。</li> <li>新たな生物の入手による親しまれる諸施設の集客増を期待しましたが、生物が死亡したため、それに代わる集客策を検討・展開していく必要があります。</li> <li>金城ふ頭については、リニア・鉄道館、駅前の商業施設のオープン、さらにはガーデンふ頭とを結ぶ定期船が就航しましたが、これを契機として、名古屋市と連携した交流拠点の形成やガーデンふ頭との連携を進める検討が必要です。</li> <li>交流機能の施設配置計画の策定(港湾計画の策定)については、国の港湾行政の指針となる基本方針が策定されるなど作業環境が整ってきたため、順次対応していく必要があります。</li> </ul>	
構成事務事業の適正性(事務事業の構成内容が妥当かどうか。問題がある場合は具体的な修正案を記入)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業構成は、概ね妥当と考えます。</li> </ul>	

個別施策13

